

### 森林療法シンポジウム

昨年12月3日、町とNPO(特定非営利活動)法人北海道森林療法研究会(理事長・住友和弘東北医科薬科大学総合診療科医師、中村正雄旭川医科大学名誉教授)共催の「森林療法シンポジウム2016」がキトウシ森林公園の森林体験研修センターで開かれました。



今までの実践例、少子高齢化に向かつて一層重要となるヘルスケアとの連携を考察しました。住友理事長は、東川町と吾別市で行った森林ウォーキングで「緊張、抑うつ、怒り、活気披露、混乱の心理検査で改善効果がある、週に1度程度の森林ウォーキングで認知機能の改善が見られた」などと再報告しました。

IT会社・サイバートラスト(株)(東京、眞柄泰利社長)の眞田勉顧問は、3年間実施した社員の森林ウォーキング成果と改善事例を例示して健康づくりのメンタルヘルス、長期滞在の観光促進、疾病予防と医療費削減のコンセプト・旭川モデルなどとして提示しました。

した。

NPO法人ささえる医療研究所(岩見沢)の永森克志代表は「2035年を目標に健康づくり、観光・保養地形成、地域活性化を目指すまちづくり」などを提示。「仮説だが、森林療法でストレスが減少するのはオキシトシンを刺激しているからではないか。ハッピーになるのなら、だ液からオキシトシンを計測してハッピー係数という基準を作ること出来る」などとアイデアも示しました。

### 旭大高吹奏楽部がクリスマスコンサート

昨年12月23日、第三地区コミュニティセンターで旭川大学高校吹奏楽部(田崎美伽部長・27人、指揮・川島明人先生)の第3回クリスマス音楽祭が開かれました。



第三地区の皆さんとの交流の一環として開く同校吹奏楽部のコンサートも3年目。同部は昨年10月開催の第16回東日本学校吹奏楽大会(東関東吹奏楽連盟主管支部、東京・中央区築地)で金賞を受賞し、その報告も併せて優勝曲「秘儀Ⅱ」7声部の管楽オーケストラと4人の打楽器奏者

のたのめ〜」も披露しました。演奏曲15曲という豪華なコンサート。クリスマス特集としてメドレー曲で「ハッピー!ハッピー!!ハッピー!!!クリスマス」(林直樹編曲)、「クリスマスキャロル・ファンタジー」を演奏して季節の訪れを演出しました。

### 旭大生が今年もサンタでやって来た

昨年12月17、18の両日、旭川大学と同大短期大学の学生サンタクロースが第三地区の高齢世帯に「メリークリスマス」。今年8年目のクリスマス訪問。コミュニティ福祉学科の学生を中心に約30人が赤いサンタクロースになって、グループ別に16世帯を訪ねました。17日、31区、赤松良作さん(78)、

弘子さん(74)を訪れたのは、1年生の佐々木秀寿さん(18)をグループリーダーとして4年と1年生の5人。特製のミニホールケーキと手書きのクリスマスカードを持参しました。赤松さんは昨年からサンタの訪問を受けている



そうです。65歳の時に来作りを引退し悠々自適。夫婦で各地を訪ね歩く旅行を楽しんでいます。「若いうちから少しずつ積み立てて行くのが楽しみでね。沖縄から始まって、少しずつ北に上がるようにして旅してきたの。あとは新潟と皇居ツアーが楽しみ」(弘子さん)と旅のよもやま話に花が咲きました。

### 初のラトビア音楽祭でウナさん里帰り

昨年11月27日、町文化芸術交流センターで初の東川ラトビア音楽祭を開きました。町国際交流員だったウナ・ヴォルコヴァさんの3年ぶりの里帰りコンサートは温かな拍手で包まれました。



ライマ・ヤンソネ、DJ・モンスタ(ウルディス・ツィールリス)、うな・うら(ウナ・ヴォルコヴァ)の3人が来町しました。ライマさんはラトビアの伝統民族楽器、クアクレの奏者、DJモンスタさんは、ラトビアで活躍する代表的なDJの一人。ライマさんとモンスタさんは一緒に活動しており、ウナさんがボーカルとして加わりました。

ンと活動。その後帰国して活動しています。ラトビア民謡をフューチャーしたライマさんのクアクレ演奏を中心に、モンスタさんのオリジナル曲、ウナさんの「百万本のバラ」など15曲を披露しました。コンサート前日には3人のトークセッションも開き、東川とラトビアとのつながりなどを紹介しました。

### 美しい風景への賞

美しい東川の風景を守り育てる審議会(浜辺啓会長)は本年度美しい風景づくり賞として住宅部門ガーデニングで3人を表彰しました。昨年12月15日、役場で表彰式を行い、内布さんの妻三加さん(47)≡写真Ⅱ、吉倉さんの妻三和子さん(70)の2人が出席してそれぞれ松岡市郎町長から表彰状を受けました。

### クリスマス恒例、しらかば音楽会

昨年12月16日、しらかば学級恒例のクリスマス音楽会が地域交流センターで開かれました。今年旭川出身で、木管五重奏団・ウインドアンサンブルポロゴメーンバーとして札幌拠点に活動しているホルン奏者、松村恵さんが初出演。ウォルトデイズニイ映画・ピノキオの主題歌「星に願いを」(1940年、ネッド・ワシントン作詞、リー・ハーライン作曲)やクリスマスメドレーなどを披露しました≡写真Ⅲ。



13人のハンドベル演奏と松村さんのホルンの協演も。19世紀の作曲家、シヨパンの美しい即興曲「ノクターンNo.2」「幻想即興曲」を皮切りに、「サンタがまちにやってくる」「メリークリスマス」「諸人ござりて」など、クリスマスにちなんだ曲が季節の到来を盛り上げました。しらかば学級は町内の60歳以上ならだれでも受講できる講座。今年68人が入学、毎月1回の講座を開いています。クリスマス音楽会は町民公開講座として毎年自由に鑑賞できます。

ともに東川町に移住しマイホームを建てて庭造りを楽しんできました。ガーデニングは奥さんの三加さん、三和子さんが主役。8年目という内布さんは「好きでやってきたことが評価されてうれしい。この受賞を励みにしたい」、11年目の吉倉さんは「とにかく



花が好きで、健康のために日々やって来ました。それが評価を受け、ありがたうございます」と喜びました。受賞者は次の通り(五十音順、敬称略)。内布剛明(南町3丁目)、吉倉忠(新栄)、吉原春光(22)